

振興会医学研究助成金授与候補者の選考が、平成二十五年八月二十九日(木)午後六時から、肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

平成二十五年度の助成選考委員会は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究部からは尾池雄一教授(基礎系)、興沼博次教授(臨床系)、丸山徹教授(薬学系)、白石順二教授(保健学系)が、センター系からは熊本大学発牛医学研究所の佐々木洋教授、熊本県医師会から河野文夫理事(国立病院機構熊本医療センター院長)、関連病院からは熊本赤十字病院の三浦正毅副院長で構成され、互選で尾池雄一教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

医学研究助成金の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部から四名、同医学部附属病院から七名、同エイズ学研究センターから一名、同薬学部から一名、熊本保健科学大学から一名、医療法人社団寿量会熊本機能病院臨床薬理研究センターから一名の計十五名であり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。その後、神原理事長に推薦し、理事会において承認された後、平成二十五年十月七日(月)、それぞれに十五万円が贈呈されました。

熊本大学大学院生命科学研究部 助教 知覚生理学分野

「Quality of Hearing」—音の質感を与える脳内聴覚機構の解明」
大野 剛 (二十六才)

熊本大学大学院生命科学研究部 助教 医用理工学分野

「画像誘導放射線治療における Cone beam CT 画像の画質改善に関する研究」
藤原 沙織 (三十二才)

熊本大学医学部附属病院 医員 乳腺・内分泌外科

「乳癌における Her2 の臨床病理学的意義の検討」
デブコタ ハリ プラサデウ (三十一才)

熊本大学薬学部附属薬用資源工科大学 ロンティアセンター 客員研究員

「抗酸化及びヒト由来培養腎尿管細胞の抗酸化ストレス因子による対する生薬から単離した成分の構造活性相関の研究」

平成二十五年度(第十七回) 肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、平成二十五年度(第十七回) 肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、同日、同委員会により行われました。

本年度は熊本大学大学院医学教育部長から推薦を受けた四名、熊本保健科学大学から推薦を受けた一名の計五名の応募があり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。その後、神原理事長に推薦し、理事会

において承認された後、平成二十五年十月七日(月)、それぞれに十五万円が贈呈されました。

林 博文 熊本大学大学院医学教育部 博士課程一年(中国)(生体機能薬理学分野)

レザノ アンドリ 熊本大学大学院医学教育部 博士課程四年(インドネシア)(免疫学分野)

周 波 熊本大学大学院医学教育部 博士課程四年(中国)(分子生理学分野)

朴 珍河 熊本保健科学大学大学院保健科学研究科 修士課程一年(韓国)(臨床検査領域)

速報

平成二十五年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催

平成二十五年度第十八回肥後医育振興会医学研究助成金及び第十七回肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式が、平成二十五年十月七日(月)午後五時半より医学教育図書棟四階ゼミ室において行われ、神原理事長から医学研究助成金四名、外国人留学生奨学金四名に対して、各十五万円が受賞者ひとり一人に手渡されました。また、それぞれの受賞者の代表者から謝辞及び今後の決意が述べられました。



第五十六回日本糖尿病学会年次学術集会開催報告

第五十六回日本糖尿病学会年次学術集会会長(熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学分野 教授) 荒木 栄一

平成二十五年五月十六日(木)〜十八日(土)の三日間、熊本市において第五十六回日本糖尿病学会年次学術集会を開催しました。糖尿病学の進歩を実感して頂くとともに、進化した糖尿病学を医療連携の場で実践することの重要性を示すことを目標と定め、「糖尿病学の進化と